自然保護課だより

かわせみ通信

第４号（平成 28 年１月発行）

発行：神奈川県自然環境保全センター
自然保護課

住所：神奈川県厚木市七沢657

TEL：046-248-6682

自然観察園情報

※野外施設の情報は、ホームページで詳しく見られます↓

県立自然環境保全センター　生き物　検索

保全センターの野外施設には、身近な自然を観察する場の自然観察園(昭和 57 年オープン)と、樹木一つ一つをじっくり観察する場の樹木観察園とがあります。樹木観察園は約 50 年前(旧林業試験場時代)に整備されました。

野外施設では、それぞれの季節に、生き物同士の巧みなつながりや、植物や虫たちの興味深い生命活動など、大自然の不思議な現象にいろいろふれることができます。

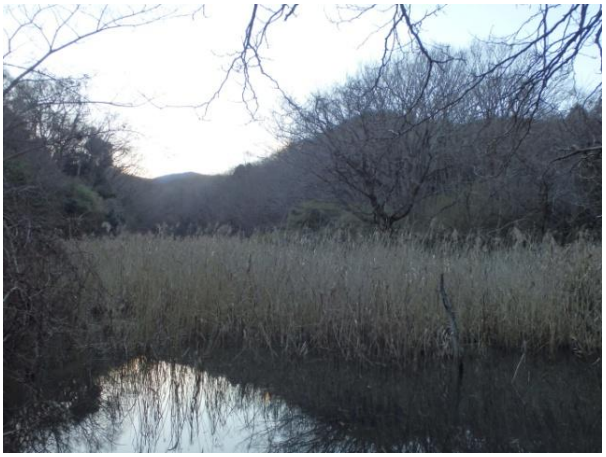
このかわせみ通信では、野外施設でみられる自然のいとなみを「季節の様子」、「気になる生き物たち」、「最近の話題」、「こんな手入れをします・しました」などの項目で情報を掲載していきます。

＜冬の様子＞

冬の谷戸は、木々が葉を落とし、草は倒れてさみしい印象を受けます。しかし葉を落とした樹木は木肌や樹形がよく見えてそれぞれに特徴があることがわかります。

ヨシやススキの穂は立って残っていて、その中にはカシラダカやアオジが集まって種子を食べています。ジョウビタキやルリビタキなど冬の野鳥も見られます。

気温の低い日は池に氷が張りますが、暖冬の影響かこの冬は氷が薄いように感じます。



↑ヨシの穂が目立つ冬の谷戸

→アオジ（左上）・カシラダカ（右上）

ジョウビタキ♂（左下）・ルリビタキ♂（右下）

＜こんな手入れをします＞　―沢沿いのササ刈り―

沢沿いの斜面は放置しておくとササに覆われ、地面には草が育たなくなってしまいます。地表を覆う植物がなくなると、雨や浸みだしてくる伏流水によって斜面が崩れやすくなります。春にたくさんの植物で斜面が覆われるように、冬の間に沢沿いのササを刈る予定です。

沢沿いの斜面を覆うササ→

＜気になる生き物たち＞

－フクロウ－

昨年 11 月頃から保全センター周辺でフクロウがよく鳴いています。鳴き声は夕方 5 時過ぎ頃から「ホウ、ホウ…ゴロスケホウホウ」と本館のすぐそばで聞こえることもあれば、複数で鳴き交わしているようなこともありました。これまで、こんなに頻繁に鳴き声を聴くことはなかったのですが、近くで繁殖して数が増えたのでしょうか。

↑フクロウ（2014 年 11 月 16 日撮影）

－秋の生き物観察記録－

●リス

谷戸に生えるオニグルミの実を食べる姿が見られました。冬に向けて栄養を蓄えていたようです。

●イカル

イカルは群れでやってきて木の実を食べていることがあり、太いくちばしで堅い種子を割る「パチパチ」という音が頭上から聞こえてきます。園内ではエノキの実を好むようですが、11 月 15 日に樹木観察園のユリノキやモミジバフウに 50 羽ほど止まっているのが見られました。モミジバフウのトゲトゲの実に入っている種子も食べていたのでしょうか。

●キビタキ

夏の渡り鳥であるキビタキは 4 月頃から自然観察園にやってきて、7 月頃まで多く見られますが、8～9 月にはほとんどいなくなります。そして再び移動の時期の 10 月頃にまた見られるようになり、11 月にはいなくなります。真夏の時期は標高の高いところで過ごしているのでしょう。職員が園内で最後に確認したのは 10 月 31 日でした。

＜最近の話題＞　－イノシシ vs 人間－

前号でも取り上げましたが、自然観察園では現在イノシシによる掘り起し被害が悩みの種です。

12 月には、14 日～18 日にかけて開所以来初めて自然観察園を閉園し、罠を仕掛けイノシシの捕獲を試みました。くくり罠と呼ばれる罠をイノシシの通り道と思われるところに数か所仕掛けました。見えないように草で隠したり、匂いで誘うために醤油をかけたり・・・その結果は・・・残念ながら、捕獲数ゼロ！

罠のすぐ横に足跡がついていたところもあり、バレバレだったようです。少しは警戒してしばらく自然観察園には来ないかなと思っていたのに、年明けにはしっかり掘り起こされた跡もあり、今回は完全にイノシシの勝利となってしまいました。

イノシシに限らず、野外施設やその周辺にはさまざまな野生動物が生息しています。かれらは臆病なので昼間に出会うことは滅多にありません。とは言え、自然観察をするときは、音のするものを身につけるなど、こちらの存在を知らせ鉢合わせしないよう引き続きご注意ください。

↑新年早々掘り返された跡

1・2・3 月のミニ観察会　（申込不要・参加費無料・雨天決行、当日午後 1 時に本館前集合）

ボランティアの解説員とともに野外施設の生き物を観察します。時間は約 2 時間です。

1 月：10 日(日)・11(月・祝)・17(日)・24(日)・31(日)

2 月：7(日)・11(木・祝)・14(日)・21(日)・28(日)

3 月：6(日)・13(日)・20(日)・21(月・祝)・27(日)

傷病鳥獣救護の情報

※救護原因の詳細やその他の情報は、ホームページ↓

神奈川県　自然保護課　野生動物救護　検索

＜平成 27 年 10 月～12 月の受け入れ実績報告＞

〔受付件数の多かった上位種〕

1 位	キジバト	（18 件）
2 位	タヌキ	（11 件）
3 位	カルガモ	（ 2 件）
	コガモ	（ 2 件）
	スズガモ	（ 2 件）
	ヒヨドリ	（ 2 件）
	ウグイス	（ 2 件）
	キビタキ	（ 2 件）
	シメ	（ 2 件）
	ヒナコウモリ	（ 2 件）

〔人間が関係する主な救護原因〕

＜鳥　類＞

ガラス窓などへの衝突（17 件）
イヌやネコに襲われる（ 9 件）
粘着剤に絡む　（ 2 件）
釣り糸に絡む　（ 1 件）

＜哺乳類＞

交通事故　（ 6 件）
疥癬（かいせん）症（ 4 件）
イヌやネコに襲われる　（ 3 件）

ヒナコウモリ（成獣）

コガモ（成鳥・オス）

＜秋のイベント実施報告＞　「第 1 回　救護動物特別公開を実施しました」

去る 10 月 18 日（日）に救護動物特別公開と銘打って、一般の方が立ち入れない傷病鳥獣棟の一部を開放し、見学していただきました！
センターでは野生動物の傷病鳥獣救護事業を行っています。リハビリ中の動物はもちろんのこと、保護された中には自然に戻すことを断念した動物たちも飼育されています。その動物たちの姿を見てもらうことで、傷病鳥獣救護の理解を深めようというイベントでした。

終生飼養されているチョウゲンボウ。
野生動物救護ボランティアの腕に
止まって参加しました！

当日はお天気にも恵まれ、13 時半～15 時半という限られた時間でしたが、見学者数は 60 名を数えました。普段では間近（触れそうなぐらい近い！）で見ることのない鳥たちやタヌキを見学者のみなさんは熱心に見学されていました。

また、触れる展示物として、実物のトビの翼標本も展示し、実際に触っていただきました。どのように感じられたのでしょうか？

次回は、**2016 年 3 月 13 日（日）　13 時半～15 時半**　開催予定です！

10 月とは違った動物たちで皆様をお持ちしております。
ぜひぜひ、動物たちの見学をして体験もして下さい！！

＜野生復帰報告＞

★1年越しに野生復帰ができました！★

放鳥当日のトラツグミ

県内で見られる時期：1年中見られる
生息地：薄暗い森林、住宅街
食べ物：昆虫類、ミミズ、木の実など

種　名：トラツグミ（成鳥）
受付日：平成26年10月28日（159.8g）
状　況：原因不明（海老名市内）
　　保護現場には、羽根が散乱していて、右胸部に外傷がある状態。
経　過：傷は治ったが、保護時には特にケガがなかった左翼が除々に異常をきたし、うまく飛べず、長期のリハビリを必要とするようになる。

- 食欲もあるため外のフライングケージに移しリハビリを開始。
- 約1年後、左翼は治っていないが、力強く飛べるようになる。

放鳥日：平成27年11月11日（133.5g）

コメント：野生復帰できないかなと思っていた時もありました。
　　諦めなくて良かった…。

★交通事故多発★

種　名：ホンドタヌキ（授乳後の幼獣）
受付日：平成27年9月1日（1,360g）
状　況：交通事故（相模原市内）
　　道路上にうずくまっていた。
　　保護された方が動物病院に持ち込み、
　　X線撮影の結果、胸骨骨折の疑いがあり、
　　初期処置をしていただいた後に受付。
　　その後、鼻の上の部分も骨折していたことが判明。
経　過：安静を保ち抗生物質の投与、鼻部の洗浄等を行う。

- 骨折も治り、顔の腫れも引いたため、外の環境でリハビリを開始。
- 高い場所にも登れるようになり、同居中のタヌキのエサを盗み食いするまでに回復！

放獣日：平成27年12月12日（3,940g）

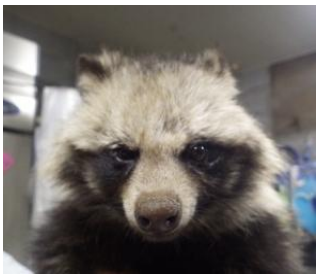
コメント：交通事故で現在治療中のタヌキは他にも5頭!!（1月14日時点）今回のケースのように放獣できたら良いのですが…。

県内で見られる時期：1年中見られる
生息地：住宅街、森林など
食べ物：小動物、果実、植物、昆虫類など

保護２日目の弱った状態

鼻とまぶたが腫れて眼球が見えない

保護68日目（左側の個体）
金網もよじ登れます！



眼もキレイになりました

実際に死亡したホンドタヌキたちの交通事故現場

動物病院のご協力に感謝いたします!!

保護された方の判断で動物病院へ持ち込まれた後に受付する場合があります。こうした多くの動物病院の方々のご協力により、助かる確率が高まります。どうもありがとうございます。